

歴史的文化財と近代的施設が融和する小学校

大洲市立新谷小学校北校舎完成



大洲市教育委員会では、「大洲市立学校施設整備計画」に基づき、旧耐震基準で建築された建物の耐震化と老朽か所の改修を進めています。

この度、大洲市立新谷小学校北校舎が完成し、7月5日(木)に落成式が開催されました。落成式では児童や地元の関係者およそ250人が集い、その完成を祝いました。

地元の小学校に対する地域のみなさんの愛着は強く、建設に使用する木材の一部は新谷公益会の協力がありました。子どもたちに安全・安心な教育環境を提供するとともに、地元産木材を使用した木造校舎には、子どもたちに夢と希望を与えてくれる物が設置されています。

今月号では、大洲市立新谷小学校の歴史とともに、北校舎完成の際に設置された「ある物」をご紹介します。

新谷小学校の歴史

新谷小学校の前身は明治2年、新谷藩校求道軒を求道館と改称し、藩士や子弟を教育したところから始まりました。

明治5年の学制改革により、神奈川県第4中学区6番小学校となった後、明治7年に令教小学校、明治20年に新谷尋常小学校、その5年後に新谷尋常高等小学校、昭和16年に新谷国民学校を経て、昭和22年に現在の「新谷小学校」となりました。

昭和43年に、新谷出身の故松村正恒氏が設計した北校舎が完成、翌44年に喜多山小学校と統合、昭和57年には体育館、昭和58年には東校舎がそれぞれ完成し、これまで多くの卒業生を輩出してきました。

平成の時代に入ると、少子化の影響で、平成23年4月1日に柳沢小学校と田処小学校が新谷小学校と統合し、歴史ある小学校は、地域の核として新たな出発を迎えています。

ご存知ですか？ 新谷小学校の歴史的文化財

新谷藩の陣屋「麟鳳閣」

新谷小学校の敷地内にある「麟鳳閣」は、慶応4年（1868）に建設された新谷藩陣屋の建物群の一部で、愛媛県の有形文化財に指定されています。

藩政時代の建物は、順に取り除かれましたが、当時の謁見所、会議所、評議所として使用されていた建物（麟鳳閣）1棟が現存しているものです。

この建物は、桁行約30メートル、

梁間約8メートル、西面は入母屋造り、東面は切妻造りの棧瓦葺の平屋建てとなっています。

内部には溜まりの場、控えの間、謁見の間などがあって、かぎ形に一間の畳廊下をめぐらしている江戸末期の貴重な建物です。

また、市指定史跡である「新谷藩陣屋跡」は、埋蔵文化財包蔵地にも指定されていることから、新校舎建設に伴う発掘調査の結果、

数々の出土品が発見されていて、その解明が待たれています。



古代～中世の出土品



江戸時代の出土品

新谷小学校北校舎に松本零士^{れいじ}さんの オリジナル絵画の壁画が設置されました

7月5日(木)、北校舎の落成式に際し、松本零士さん立ち会いの下、壁画(縦2.3メートル、横5.8メートル)の除幕式が行われました。



松本零士さんと

新谷小学校の関係

「銀河鉄道999」、「キャプテンハーロック」など、数々の名作アニメーションを生み出してきた松本零士さんは、太平洋戦争当時の昭和19年から21年にかけて、母親の実家のある新谷に住み、新谷小学校(当時は新谷国民学校)の1・2学年に在籍していました。



松本さんの自宅付近から望む神南山

自然豊かな新谷の里で、活発で多感な少年時代を過ごした松本さんは、終戦当時の新谷での体験を、後に「昆虫国漂流記」という作品で詳しく紹介しています。

疎開先の家から、神南山の裾野を国鉄内子線が走る風景を見かけた松本さんは、満天の星空の中を走る夜汽車を想像し、それが「銀河鉄道999」誕生のきっかけとなったと語っています。

今回、松本さんの作品設置は、「ぜひ、新谷にゆかりのある松本さんに、オリジナルの絵画の壁画を制作してほしい」という地元のみなさんからの強い希望があり、その話を聞いた松本さんが快諾したことにより実現されました。

「ふるさとからの旅立ち」と題した松本さんの迫力ある壁画は、子どもたちに夢と希望を与えてくれる作品です。

今後、原画の複製(原寸大)が市役所ロビーなど、市の施設5か所で展示されることになっています。



松本 零士 さん

およそ15年ぶりに大洲を訪れた松本零士さんは、新谷の地を「ふるさと」と表現されました。

松本さんは静かな口調で、こう語ります。「新谷にある山あいの緑の色は、日本一暖かい色だと思う。この色を見ると、ふるさとに帰ってきたと実感する。自然の中で、自然と一緒に育ったことが、現在の元気の源になっている。『少年時代』という、人生の中で一番楽しい時間を新谷で過ごせたことが、本当に幸せだった」

戦争という冷たい時代の中にあっても、新谷で温もりのある少年時代を過ごした松本さん。「ふるさとからの旅立ち」と題した壁画には、松本さんから子どもたちに、あるメッセージが込められています。

「人は誰でも人生に一度だけ、決心しなければならない時が来る。例えば汽車に乗るか乗らないかで、人生が変わる。来たるべき“時”を裏切ってはならない。

無限大の夢と可能性の中で、夢を持ち、志を抱いて、来たるべき“時”に旅立ってほしい」



新しい校舎は、木の香りがして、とても広くて、気持ちがいいです。松本零士さんが私たちのために、壁画を描いてくれたと聞いて、びっくりしました。他の小学校にはないものなので、とてもうれしいです。壁画にある「空飛ぶ汽車」に、乗ってみたいと思いました。

初めて壁画を見た時は、その大きさにびっくりしました。新しい校舎は、すごく広くて過ごしやすいです。図書館には本がたくさん置いてあって、何回も利用しています。きれいな校舎で、大好きな勉強ができることがうれしいです。これからも大切にしていきます。



新谷小学校1年
兵頭 碧 さん



新谷小学校1年
嶋家 文太 さん